

# 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 清流の国ぎふ芸術祭開催費補助金（ぎふ美術展）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

環境生活部県民文化局 文化創造課 文化創造係 電話番号：058-272-1111(内3121)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,000 千円 （前年度予算額： 36,500 千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	36,500	0	0	0	0	0	0	0	36,500
要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額	5,465	0	0	0	0	0	0	0	5,465

## 2 要 求 内 容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

美術に親しむ県民の裾野の拡大、県民の想像力、鑑賞力の向上に寄与、創作活動に励む県民に広く発表の機会を提供することを目的に令和6年度に開催する「第5回ぎふ美術展」及び「ぎふ美術展特別展（仮称）」（国民文化祭会期中に新規開催）に向けて、応募要項の作成や広報活動等の準備を行う。

### （2）事業内容

「ぎふ美術展」の運営及び広報のため、事業実施主体の（公財）岐阜県教育文化財団に補助を行う。

### （3）県負担・補助率の考え方

県文化振興指針の趣旨に基づき開催するもので、全額県負担とする。

### （4）類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	
合計	10,000	

#### 決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

- 「長期構想」における政策の目的  
新たなふるさとの誇りを生み出すために、文化の薫り高いふるさとづくりに取り組みます。
- 岐阜県文化振興指針(平成19年6月策定)における位置づけ  
広く県民から作品を公募し、一般に公開する「ぎふ美術展」を開催することにより、日頃の活動成果を発表できる場を提供します。

#### (2) 後年度の財政負担

令和4年度開催の「第4回ぎふ美術展」と同様に、今後も県補助金(10/10)により事業実施していく。

#### (3) 事業主体及びその妥当性

本補助金を受けて(公財)岐阜県教育文化財団が事業を実施する。  
(公財)岐阜県教育文化財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	清流の国ぎふ芸術開催費補助金（ぎふ美術展）
補助事業者（団体）	（公財）岐阜県教育文化財団 （理由） 当該財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。
補助事業の概要	（目的） 文化活動への参加及び創造を促進する。 （内容） 「ぎふ美術展」の開催
補助率・補助単価等	定率 （内容） 県10/10 （理由） 県の文化振興の主要プロジェクトとして実施するものであり、全額県負担とする。
補助効果	事業によって県文化の発展・継続が見込める
終期の設定	令和6年度 （理由） 国民文化祭の終了に合わせるもの。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

文化芸術活動へ参加する県民の更なる増加、また、新たな文化の創造及び地域の伝統文化の継承が、自律的な文化活動を確立させる。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H27)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	
					達成率	
①観覧者数 (単位：人)	6,269	15,279	—	15,279	15,279	—

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	64,929	4,792	36,500

(これまでの取組内容と成果)

令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第2回ぎふ美術展」では、県内外の幅広い方から計813件の応募があった。観覧者数は12,389人となり、第1回を上回る結果となった。</li> </ul>
	指標① 目標：9,505人 実績：12,389人 達成率：130%
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第3回ぎふ美術展」では、過去最多の計991件の応募があった。コロナ禍での開催にもかかわらず、観覧者数は7,832人（会期11日間）、3Dバーチャル美術展アクセス数6,936件（R4.3末時点）を記録した。</li> </ul>
	指標① 目標：12,839人 実績：14,768人 達成率：115%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 2	県民からのニーズが高く、他県状況等から勘案しても、県が関与し、事業実施することが必要。
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</li> </ul>	
(評価) 3	「第4回ぎふ美術展」では、コロナ禍での開催にもかかわらず、目標を大きく超える過去最多の観覧者数(15,279人)を記録した。
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価) 2	審査員の人数や審査会の進行等、旧県展からの見直しを図り、事業の効率化に努めた。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が直面する課題や改善が必要な事項 応募作品数及び観覧者数の更なる増加のため、効率的かつ効果的な広報の実施。</li> </ul>
---

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 有識者で構成されている「清流の国ぎふ芸術祭運営委員会」及び「企画委員会」において、「第5回ぎふ美術展」及び「ぎふ美術展特別展(仮称)」の具体的な実施計画について検討し、展覧会開催に向けた準備を行う。</li> </ul>
---